

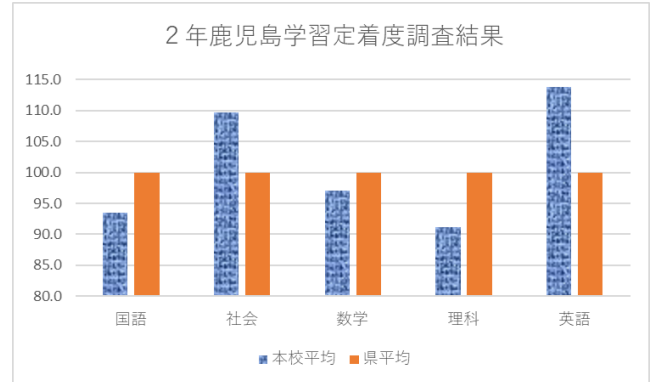
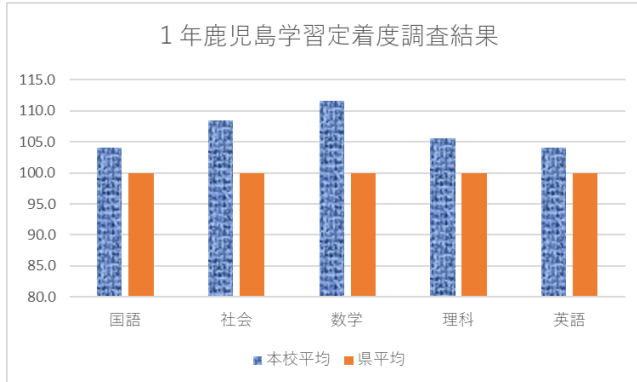
# 令和4年度 鹿児島学習定着度調査(令和5年1月実施)結果速報

鹿児島市立郡山中学校

1月に実施された「鹿児島学習定着度調査」の結果をお知らせいたします。本調査は、児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能や思考力等に関する学力状況のほか、学習に関する意識や学び方等の学習状況、学校の学力向上の取組等を把握することを目的とし、県下の全ての公立小・中学校等で実施されました。

## 1 調査結果(県平均を100としています。)

令和5年2月4日速報値



## 2 結果の概要

### ア 全体の概要

第1学年は全教科で県平均を上回り、特に社会・数学は県平均を大きく上回りました。第2学年は社会・英語が県平均を大きく上回りました。全体として、本校の学力の状況は大きく改善が図られたとらえています。

全体的に、文章や図表を結び付けた内容理解、複数の情報の整理、意味理解と理由の説明、結果を比較した考察、理解内容の正しい表現等に関する問題で通過率が低い傾向にあり、「正しく文章を読み取る力」や「論理的に説明する力」の育成が課題となっています。

今後は、各教科で育成する力を「評価規準」として明確に示し、学び合いをとおして確かな学力を育てる授業づくりを推進し、論理的思考力や言語力をつけるためにシンキングツールの活用やスピーチ等の伝え合う活動の充実に取り組んでいきます。また、単元ごとの評価を生かしながら、一人一人がAIドリル等を活用して自分に最適な課題に取り組めるようにすることで、主体的に学習の課題を解決する力を育てていきます。

### イ 各教科の課題と今後の対策

	1年 □:課題 ○対策	2年 □:課題 ○対策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 説明的文章の読み取り(段落の役割を問う問題)、記事やメモを参考にして、文章を書く問題の通過率が低い。</li> <li>○ 条件付きの記述の問題(段落構成や必ず用いる言葉など)に、授業中で取り組む機会を多く持たせる。</li> <li>○ 写真や図表などと関連づけた読み取りや読み取ったことをまとめる問題に取り組む機会を持たせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 意見文についての話し合いから文や言葉を取り上げて考えを書く問題や文章に合う図表を選ぶ問題の通過率が低い。</li> <li>○ 条件付きの記述の問題(段落構成や必ず用いる言葉など)に、授業中で取り組む機会を多く持たせる。</li> <li>○ 写真や図表などと関連づけた読み取りや読み取ったことをまとめる問題に取り組む機会を持たせる。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 【地理】「排他的経済水域」や東南アジア諸国連合の工業等、身近な地域に関する問題についての通過率が低い。</li> <li>□ 【歴史】中国の王朝(時代)名と関連事項に関する問題についての通過率が低い。</li> <li>○ アナログ課題(web問題)とデジタル課題(navima:ナビマ)の可視化</li> <li>○ 3分間テスト(基礎・基本)＜導入時＞の実施及び個別指導。</li> <li>○ 教科書の音読徹底＜学習内容の把握＞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 【地理】「都道府県」「県庁所在地」に関する問題や「中国・四国地方」と「人口動態」に関する問題についての通過率が低い。</li> <li>□ 【歴史】江戸幕府の「政治改革」の特徴に関する問題についての通過率が低い。</li> <li>○ アナログ課題(web問題)とデジタル課題(navima:ナビマ)の可視化</li> <li>○ 3分間テスト(基礎・基本)＜導入時＞の実施及び個別指導。</li> <li>○ 教科書の音読徹底＜学習内容の把握＞</li> </ul>

<p>数学</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 平均を求める問題、文字で表す問題、比例を使って説明する問題についての通過率が低い。</li> <li>○ 章のまとめやワーク、web問題などで、たくさんの条件の中から必要なものを選ぶ力をつけていく。</li> <li>○ 比例・反比例の単元で文字式を扱う機会が多いので文字で表現する練習をしていく。</li> <li>○ 口頭で説明する機会はこれまで通り多くし、記述して答える問題を増やしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 数の性質の証明、最頻値と平均値の違いの記述問題の通過率が低い。</li> <li>○ 式の計算や連立方程式の補習(連立方程式は一次関数で触れるのでその際にさらに理解を深められるようにする。)</li> <li>○ 章のまとめやワーク、web問題など、記述問題や証明問題をもっと多く取り扱っていく。</li> </ul>
<p>理科</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 質量パーセント濃度を求める問題、再結晶の様子を粒子のモデルで表す問題、流水の働きによる粒子の特徴を理解する問題の通過率が低い。</li> <li>○ 記述問題や計算問題を多く取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ からだのはたらきの問題(消化・吸収)、垂直抗力作図の問題、水蒸気量と湿度の関係を考える問題の通過率が低い。</li> <li>○ 記述問題や計算問題を多く取り入れる。</li> <li>○ 思考力や判断力をつけるためにグループだけでなく個人で考える時間の確保を行う。</li> </ul>
<p>英語</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 対話の流れから判断し、適切な語を補う問題、勧誘に対して適切に答える問題、英語を聞き正しい日付を聞き取る問題の通過率が低い。</li> <li>○ 教科書の内容把握で教師が口頭で質問した Yes/No Question に生徒が答える活動を増やす。</li> <li>○ 帯学習の中で時刻を尋ねる質問をし、teen が付く数字と ty が付く数字の使い分けができるように活動に取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 聞いて把握した内容について、適切に応じる問題、情報に基づいて3人称の時制や不定詞の名詞的用法を活用して書く問題、与えられたテーマについて情報を整理し、構成を考えて条件に沿って書く問題の通過率が低い。</li> <li>○ インタビューテストの内容を1問1答形式だけではなく、まとまりのある英文を聞いて答える内容に変更する。</li> <li>○ ALT 来校前の英宅の課題を変更し、まとまりがあり、条件に即した英作文を書く練習を行う。</li> <li>○ 授業開始時の帯学習の工夫(スピーチ、ペア発表、スキット発表)と、web 問題を利用してリスニング練習を継続的に行っていく。</li> </ul>